

# 春咲き球根類

大 岩 金

栽培方面から考へます時は植込み時期に當つて居ります九月か十月かに申し上げました方がよろしいかとも思ひましたが、百聞は一見に如かずとも申しますから最も多くの種類の開花して居りますこの候に一通り申し上げまして來る秋の植込の際の御參考に供したいと存じます。

それで個々を鑑別致しますすにも細かに注意致しますれば諸種の點に於て異なる事でありますが、一見した丈でもわかり易い點は多くは花にある事と思ひますから大體この點に重きを置きまして申し上げます。

(イ) 水仙類

まづいち早く咲きますのは水仙類であります。中には一月の頃既に咲きまして只今ではもはや開花の時期は過ぎて居りますすけれどもまだ御記憶に残つて居りませうが、かの多く水栽培に致しました支那水仙であります。是も露地ですと三月の中下旬の頃に開花致します。是は花瓣は白色でありますが副冠は黄色でありますして一莖に四五輪位つくのであります。葉よりもやゝ高く花軸がぬき出でて開花致しまして香はあまり強い方ではありません。球は大きいものになりますと直徑二寸にも及ぶものがあります。

ついで咲きますのが花瓣も副冠も眞白のペパーホ

ワイトであります。是も一莖に數輪つきますが前者に比してかなり香は強い方で一二本を机上におきましても相當に遠方までよくにほつてゆきま

す。  
次に咲きますのがラツバ水仙であります。名の如く副冠が最もよく發達した種類であります。大きく丁度喇叭狀をして居るのであります。そして一莖一花で花と花とは略同高であります。而して花瓣は淡黄、副冠は濃黄のや花瓣と副冠と色を異にしてゐるのなどあります。又副冠の喇叭の大きさは大、中、小種々あります。

最もおくれて咲きますのは口紅水仙であります。是も前と同じく一莖一花ではあります。が花瓣も副冠も共に小さく白色であります。是が特徴と致します。所は名の示すやうに副冠の縁邊を赤く細く色どつて居る事であります。

尚以上の外黄水仙、八重咲水仙などもあります。

栽培法に就きましては他の球根類と大同小異であります。から後にまとめて申し上げます事に致しませう。

#### (ロ) ヒヤシンス

ヒヤシンスに就きましてはとりたてゝ申し上げます程の事もありません。皆様の御存じのやうなものであります。只その水栽培に致します時は球の大なるものを購入するといふ事が肝要であります。

#### (ハ) クロツカス

ヒヤシンスと前後して咲きますのがこのクロツカスであります。和名で色サフランと申し一個の球根から十數枚の線狀の葉を出します。然しその葉は始めは一二寸の短いもので花の終りました後は三寸程に伸びるのであります。花は漏斗狀をして上向に咲き一花が終れば又新しい蕾が出て來るのであります。色には白、黄、紫、紅、絞りな

どありまして花軸を土中にかくして花のみ地上にあざやかな色をみせて居ります眺は誠に可愛らしいものであります。かく觀賞用の花サフランは春咲きであります。供しますサフランは秋咲きであります。その長い花糸を薬用にするとか申して居ります。

(二) チューリップ

アトリーチューリップは早生種で丈は低く最も早く三月下旬頃に開花し花梗にも莖にも葉にも軟かい短い毛が生えて居り、花は芳香をもつて居ります。色には紅、黄、紫などがあり、又一重のも八重のもありまして多く鉢作りとして花屋に出して居りますのを見受けます。

是についで咲きますのがダーウインチューリップであります。晩生種で花梗は六七寸から長いのにありますと二尺にも達するのがあります。葉は數枚で花は香をもつて居りませんが大きく多く

は一重の倒卵形をした丸味をもつた花であります。又中には八重もあり色には前同様種々あります。しかし葉や莖は滑かであります。

このやうに花軸の長いために多くは切花用として栽培されて居ります。

ダーウインチューリップの變種にパロットチューリップと申しまして花瓣の縁が深くさけたのもあります。

(ホ) トリテリヤ

三月下旬から四月上旬にかけて開花致します。

葉は四五寸の細長いものでありまして地に接して亂れて擴がつて居りますのであまり感心したものでありませんが、四五寸程の細長い花軸を抜き出して先端に可愛らしい白地に藤色のすぢを中央に染め出して本は筒になり先になつて花と萼とが互ひちがひに三瓣づつ内外竝び中に又黄の葯のわづかに見えて居ります所など誠によい配合であ

ります。

(へ) オーニソガラム

葉の形といひ花の形と申しよく似て居りますが、いづれも前者に比して細小であり花期も四月下旬から五月上旬になつて居ります。又トリテリヤの一軸一花に對して是は一花軸に數輪群生するのであります。花色は純白でありまして是が一齊に咲き揃ひました時は葉はその下にかくれて滿面白花で覆はれる事になります。

この外にもムスカリ、シラーなども露地で栽培出來ますものであります。

オキザリス、フリージャ、シクラメン、アネモネ、ランキユラスなどの春咲球根もあります。是等は皆フレーム又は温室内でなければ越冬し得られないのでありますから今回は略しておきます。

## 栽培法

夫々の球根に依りまして栽培法に多少の相違はありますけれども大同小異でありますから一般にわたつての栽培方法を申し上げます。

さてその栽培法を大別致しまして左の三通と致します。

(イ) 露地栽培

(ロ) 鉢栽培

(ハ) 水栽培

(イ) 露地栽培はいづれの球根類でも出來ますし、又多少球は小さくともかなりの成績をあげる事が出來るのであります。即ち栽培面積が廣いため施肥によりまして充分に養分を吸収する事が出來るのであります。

植込み、九月中下旬から十月一ぱいに植込みます。土質に對する好悪はほとんどなくいづれの土地にも成育致しますけれども最も理想としては排水のよい砂質壤土がよいのであります。そして植

込の際植穴の下部に堆肥、藁灰の類を入れておきます。植込の深さ及び距離は夫々球の大きさによりまして異なつて居りますから大體の標準を後に表示致しませう。

#### 植込み後の手入

今回申し上げましたものは皆耐冬性でありますから冬でも別に除霜の設備はいらないのであります。翌春になつて早いものから順次芽を出して參りますからその時芽出し肥として油粕の腐汁のうすいものをかけてやります。尙引續き成長するにつけ開花迄に數回前同様の液肥をかけてやるのであります。

#### (ロ) 鉢 栽培

鉢栽培に致します時は土の量に制限のあります事故従つて肥料分も缺乏し易いゝそれがありますから植込みます球もなるべく大きな上等のものを選ぶ必要があります。又時に施肥致します事も露

地作りよりも一層肝要であります。只鉢作りに致しまして便利な點は開花致しました時隨時好みの場所に移されます事と、花後球を掘り取ります迄に露地ですと長くそのまま土地を休ませておかなければならない缺點を補ふ事が出来るのであります。ともすると球根の移植をする方もありますが是は絶対に禁物でありまして一度移植しました時は到底その年の觀賞には役立てられないのであります。かゝる點に於て時には露地作りには鉢作りを必要とする場合がありますので球根はいづれの種類でも出來ます。

次に用ひます土も露地と大差はありませんけれども小さい鉢に堆肥を入れる事は困難でありますからこの時には油粕の腐つたものに藁灰を交ぜるか乾燥肥料の如きを土に交ぜますとよろしいのであります。又鉢に球根を植込みましたならばなるべく冷たい場所におきまして充分に根の出ました

後芽の發生するやうにしたいのであります。かく致します時は花も早く立派なものが咲きます。

### (ハ) 水 栽 培

最も普通に栽培されて居りますのは水仙とヒヤシンスであります。水仙の中では特に支那水仙が用ひられて居りますがこの水栽培に就きましては既に申し上げて居りますから省略致します。

ヒヤシンスはヒヤシンス鱧と申しまして特に是が栽培に適した鱧を販賣して居りますが是に準じた物ですと何でも代用して差支へありません。只要は白い美しい根が外から見えるやうに無地の透明である事は望ましいのであります。

栽培にかかる時期は九月中下旬に致しまして露地作りよりも幾分早めに致しましてあまりおくれず時は發育がよくないやうであります。球を鱧に入れました時は丁度球の底部とすれ／＼になる程度に水を入れまして是を戸棚の中のやうな暗所

におくのであります。そして一週一度位水をとるかへてやります。このやうに致します時は根のみ先に出て二三週間も致します時は根は充分に伸びてほとんど鱧の底に達する位になりますからこの頃からそろ／＼日當りに出して後には充分日光に當ててやります。かく致しまして根の充分はつた後芽が出ますと丈夫でしまりあるものとなり蓄も大きなのが出ます。鱧に入れて室内で栽培致しましたものは三月中下旬頃に開花致します。

### 花後の手入

一般に球根類は分球によつて繁殖するのでありますから花が終りましたならば結實させないやうに早く摘除するのであります。それから次第に灌水をひかえめに致しまして漸次葉の黄ばむのを待ちほとんど枯れる迄になりましたならば球を掘り上げて日蔭干とし來る秋まで保存しておきます。水栽培に致しましたものは球が非常にやせて居り

ますから到底來年の水栽培には役立てられませんが露地で數年休ませておきますれば又開花させる事も出來ると申しますがなか／＼恢復はおぼつかないやうであります。

花名	露地		鉢	球、個數
	深サ	距離		
ペパーホワイト	球ノ二倍	四、五寸	大サ五寸	三—五
ラツバ水仙	同前	同前	同前	三
口紅水球	同前	三、四寸	同前	五
クロツカス	同前	三、四寸	同前	五—七
ヒヤシンス	同前	四、五寸	同前	一—三
チユールツブ	同前	四、五寸	同前	三
トリテリヤ	同前	三寸	同前	五—七
オニソカラム	同前	三、四寸	同前	五—七
シラ	同前	四、五寸	同前	三

